

「学力アップ集会」 来年の進路選択・進路実現を見据えて

9月28日(火)の6校時,1年後の3年生の2学期を見据えて,「学力アップ集会」を行いました。内容は1年後の進路選択・進路実現に向けて,これからどのように学習を取り組んでいくべきかということ学習担当の長瀬先生からお話をいただきました。

受験の怖さ…

○戦うのは同じ宇美南中学校の生徒ではない

○戦うのは自分と同じ志願先の高校に行きたいと思っている他校の生徒

○他校の生徒は高い意識を持っている集団の中で今,この瞬間も勉強をがんばっている先生たちの願い

○この学年の生徒全員が希望する進路を実現してほしい…

ということで,中間考査が先週終わったタイミングでしたが,10月末の学力分析テストに向けて,2年生全員が学力アップできるように,新たに取り組みを始めることにしました。

今のところ国語・社会・理科等の得点アップに速効性がある教科を中心に,「帰れま10(テン)テスト」を実施しています。前日に学習プリントで10問の出題がなされ,そのうち5問を抜き出し,朝の会でテストを行います。全問正解するまで,昼休みや放課後の時間を使って再テストをくり返し,全問正解した人から帰ることができるという取り組みです。先生たちがみなさんに伝えたいのは日々の積み重ねです。

日本のプロ野球やメジャーリーグで活躍し数々の偉大な記録を残したイチローさんは次のようなことばを残しています。

○「自分にとって満足できるのは,少なくとも誰かに勝ったときではない。
自分が定めたものを達成したときです。」

○「小さなことを重ねていくことが,とんでもないところに行くただ一つの道なんだ
なと感じています。」

今の自分自身がどの位置にあるのかは,県の偏差値をみればわかります。県平均が50なので,自分がプラスの位置にいるのか,マイナスの位置にいるのか,客観的に自分の学力を見つめ直すことができます。

①自分の現在地をしっかりと確認し,どこまで伸ばしていきたいのか目標を立てましょう。

②そのために,今はどの教科を重点的に学習すべきなのかを自己分析しましょう。

③自己分析が終わったら,課題を克服していくための計画を立てましょう。

④計画で決めた学習内容は,「必ず身に付ける!」「必ず理解する!」「必ずできるようになる!」という強い気持ちをもって,粘り強く取り組みましょう。ぜひ,その日,その時間の学



第三者の評価を意識した
生き方はしたくない。

自分が納得した生き方をしたい。

—イチロー

習のめあてを自分で決めて、達成できるまでがんばりましょう。

計画を立てる際は、ギュウギュウに詰め込まず、計画が体調不良等やお家の用事等で思うようにいかなかったときのことを考えて、予備時間を設定しましょう。また、「わからない」「できない」であきらめずに、わからなかったらとにかく解答の解説を見たり、動画サイトで同じような内容の動画を検索して視聴したりして学ぶこともひとつの手。また、たくさん学習のための説明をしているサイト

もありますので、インターネットのこのような使い方もぜひ行ってみてください。それでもわからない時は先生に聞いたり、友だちに聞いたりすることも必要です。そうやって、勉強に向かう雰囲気（空気感）を各学級で作っていくことが大切です。まずはできることからやってみる。「やった」の積み重ねが「できた」になります。「できなかったこと」が「できるようになった」という小さな達成感の積み重ねが、1年後のみなさんの未来を確実に変えていきます。イチローさんは特別なことをして、偉業を成し遂げた訳ではありません。自分に何が必要かを考え、それを実行し、その毎日の小さな積み重ねによって偉大な記録を打ち立ててきたのです。とにかく、あきらめずに、自分の将来に向けて、1日1日の過ごし方を考え、自分にプラスになる生き方を選択し、「なりたい自分」になれるようにがんばっていきましょう。



生徒会役員選挙に向けて 現生徒会役員先輩からのメッセージ



9月29日（水）の合同帰りの会で、現生徒会役員・文化委員長の花田さんと副会長の田代さんから、リーダー学年になる心構えや、生徒会役員の仕事内容について、2年生のみなさんに詳しくお話をしていただきました。花田さんからは主に専門委員長の仕事内容について、田代さんからは三役の仕事内容について、詳しく説明していただきました。その他、リーダーとしての心構えについて、また、みんなと協力して何かを創り上げる楽しさについても話していただきました。また、みんなが支えてくれるからこそ、リーダーとしての意識も高まるというフォロワーの大切さにも触れていました。



いよいよ、10月に入ると生徒会役員選挙に向けて、様々なことが動き出します。リーダー学年としての準備をすすめ、南中の発展のためにやる気と責任感のある人たちが、たくさん立候補してくれることを期待しています。